

様式第11号（第16条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

令和2年11月30日

和泉市長 あて

団体名 モア21

代表者名 芦田三雄

所在地

電話

令和2年4月9日付け 和泉公民第84号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 65,024 円
(うち、対象経費 65,024 円)
2. 交付決定額 30,000 円
3. 添付書類
 - (1) 事業報告書（様式第12号）
 - (2) 収支決算書（様式第13号）
 - (3) その他市長が必要と認める書類

事業報告書

事業の名称	米作りプロジェクト
事業内容	<p>(主な対象者) 和泉在住市民及び近郊市民</p> <p>(事業の実施期間) 6月7日代掻き、6月14日田植え、7月、8月の雑草取り、10月4日稲刈り、18日脱穀、11月1日収穫祭まで</p> <p>(事業の実施場所) 和泉市三林町1383-24</p> <p>(事業内容) 代掻きから田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭までお米の出来るまでと、副産物である藁で日常品を作るまでの体験</p>
事業の成果 *別紙添付可	<p>(参加者・スタッフの人数の状況) 参加者数延445人、 スタッフ数44人</p> <p>(参加者の声) 事業を受ける前、受けた後 初経験組14組の方々が、米作りの作業を通して、生産者の大変さや、作る喜びが分かり、自然に触れ合うこともできて良かったと感想してくれた。</p> <p>(事業を実施したことによる目標達成状況及び効果) この米作り体験は、農家の方の大変さを学ぶことができる良い機会になったとともに、苦労を知ること農家の方に対する感謝の気持ちを育む機会にもなったと思う。 また、副産物である藁で日常品を作ることで、物を大切にする心も育むことができたと思う。 来年もほとんどの方が参加したいとのことなので、充分目標達成や効果があったと考えている。</p> <p>(今回の申請事業の反省点) 事業についてすぐに定員がいっぱいになってしまっているの で初参加の人ももっと参加できるよう工夫する。</p>
課題 (今後の方向)	<p>毎年開催意向が多いので、毎年実施したい。 更に新規参加者を増やしたいので、開催地を分散して行える様に、農耕協力者や農地を探す。 和泉市の自然事業者との共催を模索する。 特に今回はコロナ禍における三密対策に苦慮(時間割、収穫祭をローテーションを組む)したが、対応策も経験できたので来年に繋がった。</p>

(添付書類) 事業内容のわかる写真4~5枚 (写真は返却いたしません。)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支決算書

事業の名称： 米作りプロジェクト

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠等
支援金	30,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	35,000	参加費 1,000円×35組
自主財源	24	
合計	65,024	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠等（数量、単価等）
報償費	36,242	講師謝礼等
消耗品	4,802	消毒用品他
印刷製版費	230	作業手順工程等印刷用紙及びコピー代
使用料	9,000	農機械3,000×3回使用代
原材料費	10,250	収穫祭行事費用
役務費	4,500	農作業保険代
合計	65,024	
対象経費	65,024	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円を算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

(添付書類)

- 事業の経費に係る領収書（原本）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。